

ティーチング・ポートフォリオ

日本国際学園大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科
宝崎隆祐

教育の責任

科目名	対象学年	受講人数※	授業形態	必修・選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
専門演習ゼミ2	4	2	演習	必修	専門発展科目群(情報デザイン)
卒業研究	4	1	演習	必修(ILA)	専門発展科目群(情報デザイン)

教育の理念

学生が身を置く環境において自ら関心をもつ問題に対し、科学的で客観的な態度でその解決に向き合う科学的視点と現実に関与するスキルを身につけさせることが、私の教育方針である。そのため、大学教育では、その解決に真に関与する様々なアプローチ手法や考え方を涵養することで、学生自身の価値ある意思決定を支援する。問題解決に際しての意思決定の結果責任はあくまで学生自身が負うこと、また問題解決に向けては真摯な努力と公平で偏らない姿勢が必要であることを学生に自覚してもらうことを教育の柱としている。

教育の方法

理論と身近なツール（表計算ソフト等）や ICT ツール（数理科学ソフト等）を組み合わせた授業を心掛け、理論で学んだことをすぐ実践できる力を身につけさせるように指導している。

「専門演習ゼミ2」や「卒業研究」では、学生みずから社会問題を発掘し、解決するテーマを選択させている。これらの授業では、学生自身の自学自習に資するため、Google Classroom に講義ノートや資料をアップロードするとともに、共用フォルダーを介して学生と教員が対等な立場で情報・意見交換できる場を設定し、学生への助言や学習進捗状況のモニターを適宜行っている。これらの授業を通じて、書類やレポート作成のための社会で役立つ作文リテラシーを基礎素養として養わせるとともに、問題解決に必要な定量的なデータ処理のためのデータサイエンスの実践や、科学的な理論や見地から問題解決へアプローチする手法を問題解決の進捗に合わせて適宜選択・学習して、最終的な結論に導く実学的な問題解決能力を修得させるようにしている。また、適宜提出させるレポートへの添削を通じて、リアルタイムな学習指導を心掛けている。

教育の成果 および 今後の目標

「授業改善計画報告書」に記載のとおり

参考資料

- 参考著書：宝崎隆祐・飯田耕司，「搜索理論における確率モデル」（コロナ社，2019）
- グーグルドライブ：<https://drive.google.com/drive/my-drive>（非公開）